

# 常なる磐

つねなる いわ season II

令和 4年 2月25日(金)

その2

## ◇ 学校【沿革史】を 紐解いて⑨ 校舎移転に向けた動き II

【沿革史第3集】に掲載されている「学区再編・校舎新築移転」の経緯の概要

- ・昭和 55 年 11 月 (旧常磐東小学校)校地拡張と体育館新築の陳情書提出
- ・昭和 56 年 11 月 中根市長(当時)より「学校施設の環境整備充実」を確約
- ・昭和 57 年 1 月 新学区編成による学校の新建設を中根市長(当時)が確約
- ・昭和 60 年 6 月 新校舎地鎮祭
- ・昭和 62 年 3 月 新校舎引き渡し
- ・昭和 62 年 4 月 昭和 62 年度開始 校舎移転新築・屋内運動場新築完工式

※学校【沿革史】を紐解いて⑧に詳細を記述

「移転・新築 五年の歩み」という記念誌がある。多くの学校の記念誌が周年でまとめられるのに対し、区切りから5年という短い期間でまとめられるのは、なかなか珍しい。(S62:野村鉦吉先生 S63~H3:鈴木秋夫先生)

第21代 鈴木秋夫 校長が、退官年(退職年)にまとめられたものだ。

📖 記念誌の巻末に「新築移転に係る学校の沿革」が掲載されている。



**学校の沿革**

昭和 45 校舎新築促進委員会設置 新築の候補地も数か所選び、数十回に及ぶ会合、数度にわたる陳情をするも、実現しないまま自然流中根鎮夫市長誕生とともに、学校問題が再度出現

昭和 55 校舎新築促進委員会発足。現在地(旧常磐東小の位置)での校地拡張・学校施設新設を市当局に依頼・・・(二月) 拡張工事費の面から全面移転案で検討開始。候補地(安戸町カミカイト、日影、大柳カウノス)をあげ、市長、教育委員会へ陳情

昭和 56 米河内町を学区に合併しての全面移転構想が市から示された。：(二月)

昭和 57 二月十九日、学区民の同意書を提出、米河内町での話し合いが重ねられ、七月末に、東学区と合同による学校建設の賛同を得る。小学校建設委員会設立(東学区五町と米河内町) 市長・市会議長・教育長へ陳情

昭和 58 候補地の選定(米河内町惣作)、以後地主との交渉に入る。

昭和 59 用地測量開始

昭和 61 用地造成・校舎設計の説明

昭和 62 工事安全祈願祭

昭和 62 常磐東小学校建設協力会と改称

昭和 62 屋内体育館工事完了

昭和 62 校舎・管理棟・外構工事完了

昭和 62 移転・新築校舎、屋内運動場完工式。入学式。

昭和 4 西三河地域植樹祭

昭和 4 西三河地域植樹祭

この記録から校舎新築移転に係る新たな事実を掴む。

＜赤□：市長への陳情＞  
移転の動きはS55年と捉えていたが、遡ること10年前のS45年に「校舎新築促進委員会」が発足され、数十回に及ぶ会合を経た後、陳情に至った事実が残る。※頓挫

＜青帯：建設候補地＞  
惣作の他、米河内2か所、安戸、大柳も候補地であった。

◆学校移転 候補地 と 常磐東小学校所在地（新・旧）



<p>□:常磐東小学校 所在地 ※米河内町 惣作<small>そうさく</small></p>	<p>候補地 □:大柳町 カウノス</p>
<p>□:常磐東小学校 旧校舎 ※安戸町 日向<small>ひなた</small></p>	<p>□:安戸町 カミカイト</p>
	<p>□:安戸町 日影<small>ひかげ</small></p>
	<p>□:米河内町 狐ヤゲ</p>
	<p>□:米河内町 平地</p>

候補地の当時の住宅状況まではつかめないが、地形や日照、さらに緑に囲まれ、清流を間近に臨める現・学校所在地は、学びの地として最良の選択だろう。選定に感謝。

さて、記念誌記録をもとに、昭和45年度前後の沿革史を辿った結果が以下のとおり。

○昭和44年度	記録なし
○昭和45年度	11/7 校舎改築促進委員会 (11/11, 12, 13, 19, 27, 1/9, 3/4) 計9回
○昭和46年度	10/19 校舎改築促進委員会 (12/24) 計2回, 11/27 校地協会調査
○昭和47年度	4/14 校舎改築促進委員会 (5, 27, 8/6, 10/3, 11/3, 9, 20, 12/19, 25, 2/4, 11, 12) 計12回
○昭和48年度	5/17 校舎改築促進委員会 (12/15) 計2回
○昭和49年度	5/17 校舎建設促進委員会 (12/5, 12/15, 12/16) 計3回
○昭和50年度	記録なし
○昭和51年度	6/17 校舎建設促進委員会 計1回
○昭和52年度ならびに53年度	記録なし 【校舎改築(建設)促進委員会 計29回/9年】

候補地選定を含めた活動を行った45年度発足の委員会肩書「改築」は、<sup>イコール</sup> = 【新築】の捉えでよいだろう。そう考えるに、昭和60年の地鎮祭に至るまで実に足掛け15年。長期に渡る地域の働きかけと委員会を重ねた地道な準備が実を結んだ新築移転だった。